



2025 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 コ コ ペ リ
代表者名 代 表 取 締 役 C E O 近 藤 繁
(コード番号：4167 東証グロース)
問合せ先 取締役コーポレート事業部 馬庭 興平
ゼネラルマネージャー
info-ir@kokopelli-inc.com

メール共有管理システム及びファイル送信・共有サービスが信用金庫向けネットワークで提供開始

当社のグループ会社であるキー・ポイント株式会社は、株式会社しんきん情報システムセンターが提供するネットワークサービス「Face To Face ネット（クラウド接続サービス、以下 FTF ネット）」を通じて、全国の信用金庫からメール共有管理システム「GrpMail（グループメール）」及び、ファイル送信・共有サービス「WebFile（ウェブファイル）」への接続が可能となり、信用金庫へのシステム提供が可能となりました。

■ 背景

これまで信用金庫の業務用端末はインターネットと物理的に分離されているため、外部クラウドサービスの利用に制約がありました。そのため、外部サービスを導入するには、しんきん情報システムセンターが提供する FTF ネットを経由する必要があります。

また、近年、金融庁の監督指針でもデジタル化の推進やリスク管理の強化が求められており、信用金庫においても安全かつ効率的な IT 活用が重要になっています。

今回、FTF ネットを通じて「GrpMail」「WebFile」が利用可能となり、信用金庫の業務端末からでも接続ができる環境が整いました。

「GrpMail」では、営業店ごとの共有メールアドレス運用が可能となり、個人アドレス配布に伴うリスクを回避しながら効率的なコミュニケーションを実現します。さらに「WebFile」との併用により、従来の PPAP 方式（注）に依存せず、セキュアなファイル送受信・共有・管理が可能になります。

これにより、業務効率化と情報セキュリティ強化の両立が可能となりました。

（注）パスワード付き ZIP ファイルをメールで送付し、後からパスワードを別メールで通知する方法。

かつては一般的に用いられていたが、安全性の向上効果は限定的で、むしろウイルスやマルウェアをすり抜けてしまうリスクが指摘されているため、政府や金融庁においても廃止が推奨されている。

■ 今後について

「GrpMail」「WebFile」はサービスの強化を進め、ユーザー基盤のさらなる拡大、そして日本のあらゆる企業の DX の実現を目指してまいります。

キー・ポイントは、これまでも全国の自治体や大手企業等へサービスを提供してまいりました。2023 年 11 月にココペリグループへ加わって以降、ココペリが提携する全国の金融機関へ同社サービスを順次紹介しており、M&A によるシナジーが着実に創出され始めております。

現在、複数の金融機関において「GrpMail」「WebFile」の導入が決定、あるいは検討しており、今後も金融機関への展開を一層強化してまいります。